

令和 7 年度の主な国際交流・多文化共生推進関連事業について

※ 「京都市国際都市ビジョン」における国際都市像ごとに記載

国際都市像 1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

【取組の方向性】

- ① 新たな価値創出につながる京都の魅力の深化
- ② 外国人研究者や技術者、起業家、留学生等にとって魅力ある環境整備
- ③ あらゆる機会を通じた世界の都市「KYOTO」の魅力発信

【令和 7 年度の主な関連事業】

➤ グローバル展開支援中堅企業創出プロジェクト（38,600千円）

- ・京都市海外ビジネスマッチングPR支援事業
製造業を営んでいる市内中小企業者を対象とし、海外進出計画の策定から、海外展示会出展、現地企業とのマッチング、PR活動及び契約締結までの支援を実施。
申請数 11 社 採択数 3 社
- ・京都市DXによる生産性向上支援事業
製造業を営んでいる市内中小企業者を対象とし、海外市場の獲得・拡大を視野に入れたDX戦略の構築からITツール等の導入までの支援を実施。
申請数 4 社 採択数 3 社

➤ 海外企業誘致の推進（55,000千円）

「日本国際博覧会（大阪・関西万博）」を契機に多くの外国企業や関係機関、大使館等とのネットワーク構築を図るとともに、海外カンファレンスへの参加やこれまでのネットワーク等を踏まえ、アメリカ・イギリス・台湾の現地企業を訪問し、フォローアップ等のヒアリングを実施。

➤ 万博を契機とした海外ビジネス交流促進・ネットワーク構築事業（16,700千円）

大阪・関西万博を契機に、市内企業等のグローバルなビジネス展開や海外からの投資拡大を図るため、海外に向けて、ウェブサイト等で京都市の強みを発信するとともに、海外とコネクションを有する様々な関係機関とのネットワークを構築し、万博会期中にパビリオン出展等を行う海外の企業や政府関係者等を主なターゲットに、インキュベーション施設、大学、市内企業等の現地視察やビジネスイベントなどを組み込んだ、テクニカルツアーを実施した。

国際都市像2 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

【取組の方向性】

- ① 文化の力を土台とした国際交流・協力による国際社会や世界平和への貢献
- ② 海外都市との相互利益型の都市間交流の推進

【令和7年度の主な関連事業】

➤ 世界歴史都市連盟事業（4,949千円）

令和7年11月4・5日に、姫路市において、2025年度世界歴史都市連盟理事会を開催し、連盟の運営等について協議を行ったほか、第20回世界歴史都市会議の日程やテーマ等を決定した。

また、第20回会議のエクスカースション候補地である京都市と奈良市にて、理事都市による視察を実施した（11月6日：京都市、11月7日：奈良市）。

➤ イクレイ等のネットワーク組織と連携した国際発信（3,275千円）

持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組む国際的な自治体ネットワーク組織「イクレイー持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会」に加盟し、国内外の自治体との連携を図った。

令和7年4月に開催された東アジア地域理事会では、京都市長が議長を務め、本市の取組を広く発信した。また、令和8年3月に台湾・高雄市で開催されるアジア最大級のスマートシティ展示会「2026年高雄スマートシティサミット&エキスポ」における、イクレイ主催プログラム「Climate Neutral and Smart Cities Community of Practice」に現地参加し、本市の脱炭素ライフスタイルの取組などを紹介する予定。

➤ 京都・フィレンツェ姉妹都市提携60周年記念事業（17,020千円）

京都・フィレンツェ姉妹都市提携60周年を記念し、京都市代表団の派遣を行うとともに、京都市及びフィレンツェ市において、様々な記念事業を実施した。

京都市内では、フィレンツェ市をはじめイタリアの食文化に親しむイベント「フェスタイタリアーナ2025」や「フィレンツェ・スイーツフェア」、フィレンツェで始まったルネサンスやその後のバロック音楽を彩ったチェンバロに焦点を当てた記念コンサートなどの記念事業を開催した。

フィレンツェ市内では、京都市代表団の訪問に併せて、京都の伝統産業品の魅力を紹介・発信する「京都伝統産業フェア」を開催したほか、フィレンツェ市副市長との観光政策に関する意見交換、両市の交流団体によるイベントの視察などを実施した。

国際都市像3 さまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、 国際感覚をもった人が育つまち

【取組の方向性】

- ① グローバルな視点をもって地域の発展に貢献する担い手の育成
- ② 幅広い年齢層が世界の多様な文化に触れる機会の創出
- ③ 京都市の国際展開を支える職員の育成

【令和7年度の主な関連事業】

➤ 京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり（45,000千円）

海外からクリエイティブな人材を京都に呼び込み、地域とつなげることによって、知的交流を促す仕組みをつくるためのモデル事業を6件実施。

アーティスト・イン・レジデンスの実績のある施設等のネットワークを形成するとともに、ノウハウ等が不足して躊躇している施設等をネットワークによりサポートし、受け入れを促すためのミートアップや専門家による相談会等を開催した。

加えて令和7年度は、海外クリエイターと若者・地域との交流に係るコーディネート機能の充実、国内外のネットワークづくりや京都のレジデンス情報の海外発信を行った。

➤ 英語教育・国際交流の推進（53,592千円）

子どもたちが実践的な英語力を身につけることができるよう、小学校で日常的に英語に触れるための取組、中高校生の英検受検料補助、高校での修学旅行等や海外姉妹校との相互交流、GTECの活用に取り組んだ。

また、「京都市立高校グローバルリーダー育成研修」を実施し、多様な文化や価値観に触れる経験を通して、グローバル人材としての素地を育んだ。

令和7年度より、海外で探究活動を実践する市立高校生に留学に要する経費の一部を補助する「海外探Q留学」支援事業を新たに創設し、17名の応募の中から9名を選考し、各々が設定した探究テーマに沿って活動を実施した。

➤ 国際交流会館管理運営（指定管理）（178,693千円）

京都市国際交流会館では、市民レベルの国際交流や多文化共生を推進するための各種事業を実施しているほか、各種活動の場として広く市民に活用されている。

【令和7年度の来館者数】約20万人（令和7年12月末現在）

1 市民への情報提供・相談事業

ホームページやメールマガジン等を活用した情報発信、「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営（「行政書士による出入国管理手続き相談」、「外国人のためのカウンセリング・デイ」、「生活相談」など）

2 国際交流団体等との連携事業（「kokoka国際交流団体ねっと」の運営など）

3 共生社会を促進していくための担い手育成事業（ボランティア活動育成事業など）

4 異文化理解・多文化共生社会への促進事業（kokokaオープンデイ、やさしい日本語講座など）

5 留学生への支援、留学生との協働・交流事業（京都留学生情報サイトなど）

6 広報・出版・広告事業（イベントカレンダーの発行など）

7 姉妹都市コーナー・展示室の運営

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

【取組の方向性】

- ① 多言語による情報提供・コミュニケーション支援
- ② 外国籍市民等が安心・安全に暮らせる体制整備
- ③ 外国籍市民等による地域・市民活動への参加促進
- ④ 外国籍市民等の地域での就労支援

【令和7年度の主な関連事業】

➤ 京都市外国籍市民等意識・実態調査（11,000 千円）

外国籍市民の増加や国籍・在留資格の多様化など、近年の外国籍市民を取り巻く状況が大きく変化していることを踏まえ、外国籍市民の生活実態やニーズ、日本人の受入れに関する意識などを把握することにより、本市にお住まいの日本人と外国人の相互理解が深まり、誰もがより安心して暮らせるまちづくりに向けた施策を検討することを目的に令和7年7月にアンケート調査を実施し、令和8年2月3日に結果報告書を公表した。

➤ 海外からの相談対応等受入環境整備の充実事業（7,700 千円）

来日前の生活相談や問合せに対し、必要な情報の提供や関係団体の案内等を行えるよう、京都市外国籍市民総合相談窓口の体制を強化するとともに、海外向けのウェブページ「Kyoto Roots.」を開設し、海外からの相談対応の強化を行った。

また、外国籍市民が行政機関における手続き・相談（個人面談）や福祉サービス利用などをよりスムーズに行えるよう、既存の電話による三者通話に加え、新たに通訳者を派遣できる体制の強化（試行実施）も行った。

➤ 京都市外国籍市民総合相談窓口運営（8,365 千円）

在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行っている。

・令和7年度相談件数（令和7年12月末現在）：6,227件

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
総合企画局	国際都市共創推進室 国際担当	京都・フィレンツェ姉妹都市提携60周年記念事業	通年	京都・フィレンツェ姉妹都市提携60周年を記念し、京都市代表団の派遣を行うとともに、京都市内及びフィレンツェ市内において、様々な記念事業を実施した。 京都市内では、フィレンツェ市をはじめイタリアの食文化に親しむイベント「フェスタイタリアーナ2025」や「フィレンツェ・スイーツフェア」、フィレンツェで始まったルネサンスやその後のバロック音楽を彩ったチェンバロに焦点を当てた記念コンサートなどの記念事業を開催した。 フィレンツェ市内では、京都市代表団の訪問に併せて、京都の伝統産業品の魅力を紹介・発信する「京都伝統産業フェア」を開催したほか、フィレンツェ市副市長との観光政策に関する意見交換、両市の交流団体によるイベントの視察などを実施した。	新規	17,020	2,3	
		世界歴史都市連盟事業	通年	令和7年11月4・5日に、姫路市において、2025年度世界歴史都市連盟理事会を開催し、連盟の運営等について協議を行ったほか、第20回世界歴史都市会議の日程やテーマ等を決定した。また、第20回会議のエクスカーショ候補地である京都市と奈良市にて、理事都市による視察を実施した(11月6日：京都市、11月7日：奈良市)。 連盟事務局では、機関紙の発行や公式ウェブサイトによる情報発信等を行った。	継続	4,949	2	
		京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	第1回：令和7年7月23日 第2回：令和8年2月25日	今年度第1回審議会では、今年度の国際交流・多文化共生関連事業の実施予定等について市から報告するとともに、今期(令和7年度～8年度)のテーマ設定について委員に議論いただき、今期共通テーマを「外国籍市民等の地域との交流促進・相互理解に向けて」に決定した。第2回では、市から今年度事業の取組状況等を報告するとともに、今期テーマに基づき議論いただく予定。	継続	226	2,3,4	
		国際会議や海外賓客の接遇時等における京都の魅力発信	通年	各国・都市、企業等の代表者による本市訪問の際、また、姉妹都市周年事業や世界歴史都市連盟理事都市の本市訪問等の機会を捉え、都市格向上に向けた京都の魅力発信を積極的に行った。	継続	-		
		医療通訳派遣事業	通年	医療機関に対して通訳者を派遣することにより、外国籍市民等が安心して医療サービスを受け、安全に暮らすことができるよう、言葉を中心としたサポートを行っている。 ・令和7年度利用件数(令和7年12月末現在)：908件	継続	2,700	4	
		地域・多文化交流ネットワーク促進事業	通年	多文化共生を推進する団体や外国人コミュニティ等への活動場所の提供、関係団体間の連携促進、外国籍市民等支援や異文化理解に関する事業(日本語教室や東九条春まつり)を実施している。	継続	9,900	4	
		京都市外国籍市民総合相談窓口運営	通年	在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行っている。・令和7年度相談件数(令和7年12月末現在)：6,227件	充実	8,365	4	
		災害時多言語電話通訳事業	通年	災害発生時、避難所の運営主体等が、日本語を話せない外国籍市民等が来られた際に対応できるよう、多言語対応した専用の電話回線により通訳可能な体制を整えている。(避難所等の開設期間中、24時間利用可能)	継続	460	4	
		京都市外国籍市民等意識・実態調査	通年	外国籍市民の増加や国籍・在留資格の多様化など、近年の外国籍市民を取り巻く状況が大きく変化していることを踏まえ、外国籍市民の生活実態やニーズ、日本人の受入れに関する意識などを把握することにより、本市にお住まいの日本人と外国人の相互理解が深まり、誰もがより安心して暮らせるまちづくりに向けた施策を検討することを目的に令和7年7月にアンケート調査を実施し、令和8年2月3日に結果報告書を公表した。	新規	11,000	3,4	
		海外からの相談対応等受入環境整備の充実事業	通年	来日前の生活相談や問合せに対し、必要な情報の提供や関係団体の案内等を行えるよう、京都市外国籍市民総合相談窓口の体制を強化するとともに、海外向けのウェブページ「Kyoto Roots.」を開設し、海外からの相談対応の強化を行った。 また、外国籍市民が行政機関における手続き・相談(個人面談)や福祉サービス利用などをよりスムーズに行えるよう、既存の電話による三者通話に加え、新たに通訳者を派遣できる体制の強化(試行実施)も行った。	新規	7,700	3,4	
	国際都市共創推進室 大学政策担当	留学生スタディ京都ネットワーク	通年 (平成27年度～)	大学、日本語学校、専修学校、経済界、京都府とともに、海外から京都の大学等への留学を促進するための組織を設立し、海外や首都圏の日本語学校から留学生を獲得するためのプロモーションや、国内外からの相談・問合せへのワンストップ窓口の開設、さらに留学生の住環境整備や就業支援に関して、オール京都体制で推進していく。	継続	15,000		
		京都で学ぶ留学生の受入環境支援・体験交流促進事業	通年 (平成27年度～)	入学直後の留学生に行政手続きや生活ルールに係る情報提供等を行うとともに、京都市の文化施設の見学・体験等の機会を提供する。また、京都で学ぶ多様な学生が、京都ならではの文化芸術や伝統産業に少人数でじっくりと体験できる参加体験型プログラムを実施し、末永く京都ファンとして、京都への関心・愛着を持ってもらえるように取り組む。	継続	3,000		
		学生のプレミアム体験・交流事業	通年	京都の大学等で学ぶ学生(留学生を含む)を対象に、普段経験できない京都の多様で奥深い魅力を学ぶ“京都ならではの体験”イベントを実施する。 この体験を通じ、学生の京都への愛着・関心をより一層深めるだけでなく、大学等の垣根を越えた学生同士のつながりも強化し、卒業後も京都に定着してもらうなど、末永く京都と縁を持って活躍してもらえる好循環を目指す。	継続	3,000		
	人口戦略室 京都創生担当	海外に向けた「京都創生」の展開	通年	・MICEの機会を通じた取組の周知 ・インバウンド向け寄附プラットフォーム(PreserveKyotoGift)の運営 ・海外寄附団体と連携した新たな寄附獲得のスキームの調査 ・デジタルノマド・クリエイティブ人材の呼び込みのためのイベント等の実施	継続	2,131	2	
		グローバル都市WGの開催	通年	本市におけるグローバル都市実現に向けた「チャレンジ」や、各局で実施しているグローバルな繋がりを活用・連携・運動させ実施することで、その効果を最大限に発揮し、海外から人・企業・資金等呼び込むことができる都市を目指す。 ・IVSサイドイベント(デジタルノマド)(R7. 7月)	継続	-	2	

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
文化市民局	文化芸術企画課	東アジア文化都市交流事業	通年	創造都市ネットワーク日本 国際ネットワーク部会において、東アジア文化都市の認知度向上に向けて取り組むとともに、今後の国際ネットワーク強化の在り方について検討を進める。また、令和7年度は、ユネスコ創造都市ネットワークと合同会議を開催し、都市間の情報交換を行った。	継続	-	2,3	
		京都国際舞台芸術祭 (KYOTO EXPERIMENT)	令和7年10月4日から26日	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。	継続	26,700	2,3,4	
		Discover Traditional Culture of KYOTO～京の伝統文化ブランディング～	通年	伝統文化の価値を向上し、本市の魅力を向上させるため、伝統文化に対する潜在的ニーズを踏まえ、国内外から京都を訪れる観光客の目線で、ツアーの実施、多言語対応、音声ガイドの整備などを行い、また誘客に関するノウハウを文化関係者に共有することで持続可能な取り組みを目指す。	継続	10,000		
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	充実	151,428	2,3,4	予算額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。
		KYOTOGRAPHIE (京都国際写真祭)	令和7年4月12日～5月11日	京都を舞台とした国際的な写真祭「KYOTOGRAPHIE(京都国際写真祭)」を本市共催により開催(主催：一般社団法人KYOTOGRAPHIE)。京都の歴史的建築物などを会場(市内十数か所)とし、選りすぐりの国内外写真家による展覧会等を実施した。	継続	-	2	
		京都文学賞	通年 ※令和元年度～	京都を題材とする小説を募集・表彰することにより、京都における文学の更なる振興とともに、「文化都市・京都」の発信や京都の歴史と魅力の再認識、都市格の向上につなげる。 作品の募集・選考を行い、一般、中高生、海外の各部門から受賞作を選定の上、表彰式を実施する。	継続	10,300		
		京都・文化ファンドレイジング戦略推進事業	通年 ※令和3年度～	京都の文化芸術を担うアーティスト等の活動を、個人・企業の寄付等を通じて社会全体で支え、持続可能な文化芸術の振興を図るArts Aid KYOTO の取組を継続するとともに、更なる支援の拡大・促進を図るため、高額所得者向けの寄付獲得の取組等を行っている。	継続	418,400		
		京都文学レジデンス	10～11月 ※令和4年度～	国内外から招致した作家、詩人、翻訳者等が、京都に一定期間滞在し創作活動を行う場を提供する。講演会、朗読会等における市民との交流や、創作活動を通じて京都の魅力を発信する。 京都の複数の大学の教授等による実行委員会に本市も参画。 令和7年10月18日から11月17日まで第4回京都文学レジデンスを開催。	継続	-		
		「カルチャープレナー」の創造活動促進事業	通年	カルチャープレナーの実践事例のリサーチや情報発信、アワードを開催するとともに、コミュニティ形成のため交流会等を実施。	継続	15,000		
		京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり	通年	海外からクリエイティブな人材を京都に呼び込み、地域とつなげることによって、知的交流を促す仕組みをつくるためのモデル事業を6件実施。 アーティスト・イン・レジデンスの実績のある施設等のネットワークを形成するとともに、ノウハウ等が不足して躊躇している施設等をネットワークによりサポートし、受け入れを促すためのミートアップや専門家による相談会等を開催した。 加えて令和7年度は、海外クリエイターと若者・地域との交流に係るコーディネート機能の充実、国内外のネットワークづくりや京都のレジデンス情報の海外発信を行った。	充実	45,000	3,4	
産業観光局	地域企業振興室 スタートアップ・産学連携推進室	中小企業海外展開支援事業	通年	①中小企業の海外展開支援事業 人口減少、高齢化に伴い、国内市場が縮小している中、中小企業の産業活動を維持、発展させるためには、積極的に海外の需要を取り込んでいくことが必要となっている。そのため、海外に豊富なネットワークを持つジェトロ京都及び京都市、京都府、京都商工会議所を中心にオール京都体制で設置した「京都海外ビジネスセンター」を軸に、積極的に成長している海外需要を取り込み、京都経済の活性化を図る。 ②貿易振興事業 貿易関連団体と貿易手続等の普及啓発を行うことで、貿易の振興を図る。 ・R7年11月18日に国際ビジネスセミナー開催	継続	11,700		①ス産 ②地企
	スタートアップ・産学連携推進室	京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト	通年	オール京都及び京阪神間での連携を強化し、京都におけるスタートアップの発掘・育成・支援や国内外への発信に、より一層取り組むことで、社会課題解決に取り組むスタートアップの創出及び集積を促進し、都市の活力が創造され、市民生活の豊かさがもたらされる「スタートアップの都・京都」を目指す。	継続	227,200	2	予算額は、プロジェクト全体の予算額であり、全てが海外展開・情報発信等に係るものではない。
		万博を契機とした海外ビジネス交流促進・ネットワーク構築事業	通年	大阪・関西万博を契機に、市内企業等のグローバルなビジネス展開や海外からの投資拡大を図るため、海外に向けて、ウェブサイト等で京都市の強みを発信するとともに、海外とコネクションを有する様々な関係機関とのネットワークを構築し、万博会期中にバリエーション出展等を行う海外の企業や政府関係者等を主なターゲットに、インキュベーション施設、大学、市内企業等の現地視察やビジネスイベントなどを組み込んだ、テクニカルツアーを実施する。	継続	16,700		
	地域企業振興室	グローバル・ニッチ・トップ企業創出プロジェクト	通年	高度な技術力を有し、海外展開に向けた高い経営者マインドを有するものの、従業員のノウハウやネットワーク、資金の不足等の課題により、海外展開の検討・計画の作成や製品開発ができていないベンチャー企業・中小企業を支援することにより、円滑な海外進出を促進し、京都経済を担う新たなグローバル・ニッチ・トップ企業の創出を図る。 申請数35社 採択数20社	継続	26,700		
		グローバル展開支援中堅企業創出プロジェクト	通年 (令和7年度～)	・京都市海外ビジネスマッチングPR支援事業 製造業を営んでいる市内中小企業者を対象とし、海外進出計画の策定から、海外展示会出展、現地企業とのマッチング、PR活動及び契約締結までの支援を実施 申請数11社 採択数3社 ・京都市DXIによる生産性向上支援事業 製造業を営んでいる市内中小企業者を対象とし、海外市場の獲得・拡大を視野に入れたDX戦略の構築からITツール等の導入までの支援を実施 申請数4社 採択数3社	新規	38,600	1	支援期間は約2年間
	企業誘致推進室	海外企業誘致の推進	通年	「日本国際博覧会(大阪・関西万博)」を契機に多くの外国企業や関係機関、大使館等とのネットワーク構築を図るとともに、海外カンファレンスへの参加やこれまでのネットワーク等を踏まえ、アメリカ・イギリス・台湾の現地企業を訪問し、フォローアップ等のヒアリングを実施。	新規	55,000	1	

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
産業観光局	クリエイティブ産業振興室	新たな京都ファン開拓事業(京都館プロジェクト)	通年	国内外から関西に注目が集まる2025年の「日本国際博覧会(大阪・関西万博)」の機会を踏まえて、京都の伝統産業、文化などの魅力を、YouTube等を活用して国内外に発信している。	継続	14,000		
		伝統産業未来構築事業	通年	世界に誇る京都の伝統産業を未来に継承・発展させるため、他ジャンルとのコラボによる新商品開発や販路の開拓・拡大、後継者育成に係る事業に加えて、伝統産業品の海外展開に資する新たな取組を支援し、商品力及び販売力の強化につなげていく。 また、本市が選定する、商品開発等に知見のある事業者の企画の下、伝統産業事業者が行う新商品開発及び販路開拓・拡大を支援する「新商品開発等支援プロジェクト」を実施し、伝統産業事業者の将来の事業発展に寄与するよう支援する。	充実	45,000		
		次世代クリエイター育成プロジェクト	通年	「京都国際クリエイターズアワード」のさらなる発展とともに、「クリエイター創作活動支援事業」、「最新デジタル技術の活用による産業振興プロジェクト」の実施も併せた「次世代クリエイター育成プロジェクト」を継続して実施している。 本事業を通じ、国内外の優秀なクリエイターのさらなる獲得・育成を行うことで、クリエイティブ活動がより活発になるための場を醸成するとともに、クリエイターの作品発表の場などアウトプットできる環境の提供に取り組んでいる。	継続	12,900		
	観光MICE推進室	持続可能なインバウンド観光促進事業	通年	外国人観光客が増加するなか、京都観光モラルや観光マナーの周知啓発、インバウンド受入環境の整備やプロモーションの実施等に取り組み、地域経済の活性化を図るとともに、市民生活と調和した持続可能な観光を推進している。	継続	38,500	2	
		サステナブルMICE都市形成事業	通年	脱炭素や地域貢献等に資する活動に対する補助制度において、SDGsに貢献するMICEの開催・誘致に取り組むとともに、MICE商談会の開催や出展を通じて、国際的なMICE誘致ネットワークの構築を図っている。	継続	25,000	2	
		京都観光オフィシャルサイトの運営	通年	京都観光オフィシャルサイトを運営し、国内外の観光客に向けて、魅力的なコンテンツはもとより、京都観光モラル、入洛前からのマナー啓発、観光客の分散化、災害・防災行動情報など、京都観光に資する情報の発信を行っている。	継続	59,200	2	
		メディア等を通じた国内外向け情報発信等	通年	海外情報発信・収集拠点(全6箇所)(台北、シドニー、パリ、ロンドン、ロサンゼルス、ニューヨーク)を設置して海外市場に合わせたきめ細やかなプロモーションを実施するほか、映画・ドラマの撮影支援等の国内外のメディア支援を行うことにより、世界における京都のメディア露出の増加に努めている。	継続	35,116	2	
		京都文化交流コンベンションビューロー補助金	通年	MICE京都ブランドの一層の磨き上げや競争力強化を図るため、積極的な誘致活動や、誘致・開催を支援する助成金・補助金制度の活用等を通じて、MICEの振興に繋げている。	継続	103,951	2	
		京都市認定ガイド制度の運営	通年	外国人観光客へのサービスの向上と通訳ガイドの活躍の場を充実させるため、これまでに育成したガイドに対して、必要な知識や技術を学ぶ研修を実施している。また、外国人観光客が増加する中、ガイドの人数を一定確保するために、新規募集(第8期生)を行った。	継続	24,950	2	
		京都総合観光案内所の運営	通年	京都の玄関口である京都駅構内(京都駅ビル2階)において、「京都総合観光案内所(京なび)」を府市協調により設置し、府内全域の観光・交通案内を多言語(日、英、中、韓の常時対応のほか、スタッフにより、フランス語、スペイン語、ドイツ語、タイ語も対応可能)で実施。	継続	61,839		
		観光案内DX事業	通年	パソコンやスマートフォン等で利用可能な「京なびオンライン」サービス(対応言語:日、英、中(簡体、繁体)、韓)において、チャットボットによる質問対応や利用者のニーズに応じた観光プランの提案等による観光案内のほか、「よくある質問」サイト、「観光パンフレット・地図ダウンロード」サイト、「観光快適度マップ」、災害等の緊急情報の発信等を行っている。 また、京都総合観光案内所(京なび)施設内や鉄道駅等にタブレット端末を設置し、同様のサービスを提供する。	継続	2100		
		多様なエリアにおける魅力発信事業	通年	専用ウェブサイトでの情報発信等に加え、WEB広告を活用した情報発信や各エリアの紹介動画の充実など様々な手法を組み合わせた各エリアのプロモーションを展開した。	充実	63,500		総事業費(41,700千円)の内の一部
		市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けた海外プロモーション強化事業	通年	市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向けては、観光課題対策等の本市が政策として伝えたい情報をより一層効果的に発信する必要があるため、令和6年度に新たに設置した中国(上海)拠点を含め、7つの海外情報発信・収集拠点や海外有力メディア、海外インフルエンサーを通して、効果的な情報発信を行い、海外向け観光プロモーションの強化に取り組んでいる。	継続	41,800	2	
		京都の強みを活かしたMICE誘致強化事業	通年	京都の特色を活用した誘致のための助成金・補助金制度の拡充を図るとともに、京都のMICEの現状を把握、分析し、今後の施策に生かすために必要な調査を実施している。	充実	61,500	2	

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
都市計画局	まち再生・創造推進室	海外の行政機関・教育機関からの視察受入、情報発信	通年	韓国(5団体、105名)を受け入れた。 (うち、行政機関:3団体、42名 ・ 住民自治団体:1団体、47名 ・ 教育機関(青年):1団体、16名) ホームページ等の英語表記の整備については、現状維持にとどまっており、引き続き次年度も継続取組予定。	継続	-		
上下水道局	水道部施設課	施設見学の受入れ	通年	外国人研修生等の受入については、要望内容に応じて検討を加え受入れを行っている。	継続	-		
	下水道部施設課	施設見学の受入れ	通年	外国人研修生等の受入については、要望内容に応じて検討を加え受入れを行っている。	継続	-		
教育委員会	生涯学習部 生涯学習推進担当	京都市内博物館ガイドブック「京都ミュージアム探訪」(日本語版及び英語版)の改訂版発行及びweb配信	令和7年4月～	2019年の国際博物館会議(ICOM)京都大会や東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、平成25年に発行した京都市内博物館ガイドブック「京都ミュージアム探訪」(日本語版及び英語版)を、最新の情報へ更新し、より読みやすく、興味を引く内容とし、広く発信するため、平成31年3月に、書籍の改訂版を発行するとともに新たにwebサイトでの配信を開始したが、平成31年に発行した書籍の内容が古くなったため、令和7年度末をもって書籍の販売を終了する。一方、WEBサイトについては内容の充実やセキュリティ面の強化を図るため、令和7年4月にプロポーザルを実施。「京都市内博物館施設連絡協議会ホームページ」の中の一つのコンテンツとして組み込むかたちで再構築し、分かりやすく魅力的な情報発信を目指す。リニューアル後の公開は令和8年3月末を予定。	継続	5,199		
	生涯学習部 施設運営担当	多言語化パンフレット・リーフレット・音声ガイド	パンフレット:通年 リーフレット:令和3年度～ 音声ガイド:令和3年度～	京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)にある古典の日記念 京都市平安京創生館において、来館者向けに作成した常設する平安京復元模型等の解説を掲載した英語・中国語・韓国語の案内パンフレットと、学校教育にも活用できるリーフレットを置き、リーフレットは学校にも配布。また引き続き常設展示の解説英語版案内板を設置するとともに、平安京復元模型の音声ガイドを運用。	継続	-	4	
	学校歴史博物館	多言語化音声ガイド・パンフレット・リーフレット	通年	「英語・韓国語・中国語・日本語の音声ガイド」と「英語・韓国語・中国語のパンフレット・リーフレット」を平成29年度に作成し、平成30年度から外国人観覧客等に使用している。	継続	-		
	青少年科学センター	多言語通訳サービス	通年 (令和元年7月～)	入館時の改札業務において、外国人来館者に対し、翻訳機による英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語等48ヶ国語対応の通訳サービスやタブレット端末による通訳アプリを使用した対応を実施する。(令和元年7月～) 展示場・プラネタリウムにおいて、聴覚障害者や外国人来館者に対し音声認識での字幕・翻訳アプリを使用したサービスを行っている。(令和7年6月～)	継続	-		
		展示品名の多言語表記	通年	新しい展示品を導入する際には、日本語に加え、英語・中国語・韓国語で展示品名を表示する。	継続	-		

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像2 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
総合企画局	国際都市共創推進室 国際担当	キーウ市・ウクライナ避難者支援	通年	市民の皆様からの寄付金を活用して、独立行政法人 国際協力機構（JICA）と連携し、市立小・中学校において利用を終えた学習用パソコン（GiGA端末）を改修のうえ、子どもの学習用パソコンとして、キーウ市へ届ける取組を進めている。（令和8年9月頃にキーウ市到着予定） また、ウクライナから本市に避難されている方々に対して、引き続き、「ウクライナ・キーウ京都市民ぐるみ受入支援ネットワーク」において、各種相談対応を行うとともに、避難生活の長期化に伴い国及び日本財団の生活費支援が終了し生活困窮状態に陥る可能性のある避難者に対し、生活一時支援金(1世帯10万円、世帯員ごとに5万円)支給した。 ・避難者数(令和8年1月18日時点) 68世帯78名	継続	1850		
		京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	第1回：令和7年7月23日 第2回：令和8年2月25日	今年度第1回審議会では、今年度の国際交流・多文化共生関連事業の実施予定等について市から報告するとともに、今期(令和7年度～8年度)のテーマ設定について委員に議論いただき、今期共通テーマを「外国籍市民等の地域との交流促進・相互理解に向けて」に決定した。第2回では、市から今年度事業の取組状況等を報告するとともに、今期テーマに基づき議論いただく予定。	継続	226	1,3,4	再掲
		ニュー・ブランシュ KYOTO	9月27日(土)から10月4日(土)	今年度は「*** in Residence」とのコラボレーションによる特別バージョンで京都市内各地32会場で日仏アーティストによる展示、ダンス、音楽ライブ、パフォーマンス等、多様なプログラム実施し、期間中、3,299人が来場した。	継続	1000		
		世界歴史都市連盟事業	通年	令和7年11月4・5日に、姫路市において、2025年度世界歴史都市連盟理事会を開催し、連盟の運営等について協議を行ったほか、第20回世界歴史都市会議の日程やテーマ等を決定した。また、第20回会議のエクスカーショ候補地である京都市と奈良市にて、理事都市による視察を実施した(11月6日：京都市、11月7日：奈良市)。 連盟事務局では、機関紙の発行や公式ウェブサイトによる情報発信等を行った。	継続	4,949	1	再掲
		京都・フィレンツェ姉妹都市提携60周年記念事業	通年	京都・フィレンツェ姉妹都市提携60周年を記念し、京都市代表団の派遣を行うとともに、京都市内及びフィレンツェ市内において、様々な記念事業を実施した。 京都市内では、フィレンツェ市をはじめイタリアの食文化に親しむイベント「フェスタイタリアーナ2025」や「フィレンツェ・スイーツフェア」、フィレンツェで始まったルネサンスやその後のバロック音楽を彩ったチェンバロに焦点を当てた記念コンサートなどの記念事業を開催した。 フィレンツェ市内では、京都市代表団の訪問に併せて、京都の伝統産業品の魅力を紹介・発信する「京都伝統産業フェア」を開催したほか、フィレンツェ市副市長との観光政策に関する意見交換、両市の交流団体によるイベントの視察などを実施した。	新規	17,020	1.3	再掲
		姉妹都市とのマラソンを通じた交流	マラソン開催時	姉妹都市交流の促進を目的とし、本市の姉妹都市であるケルン市からの申し出を受けて、市民を対象にケルンマラソンの姉妹都市ランナー枠(エントリーフィー無料)を募集した結果、1名が参加された。(令和7年10月5日開催)	継続	—		
	国際都市共創推進室 SDGs・共創推進担当	京都世界水大賞	令和8年4月～令和9年3月	令和8年度の実施に向けて、グローバルパートナー企業(協賛企業)の募集を開始	継続	—		
	人口戦略室 京都創生担当	海外に向けた「京都創生」の展開	通年	・MICEの機会を通じた取組の周知 ・インバウンド向け寄附プラットフォーム(PreserveKyotoGift)の運営 ・海外寄附団体と連携した新たな寄附獲得のスキームの調査 ・デジタルノマド・クリエイティブ人材の呼び込みのためのイベント等の実施	継続	2,131	1	再掲
		グローバル都市WGの開催	通年	本市におけるグローバル都市実現に向けた「チャレンジ」や、各局で実施しているグローバルな繋がりを活用・連携・連動させ実施することで、その効果を最大限に発揮し、海外から人・企業・資金等呼び込むことができる都市を目指す。 ・IVSサイドイベント(デジタルノマド)(R7. 7月)	継続	-	1	再掲
文化市民局	文化芸術企画課	東アジア文化都市交流事業	通年	創造都市ネットワーク日本 国際ネットワーク部会において、東アジア文化都市の認知度向上に向けて取り組むとともに、今後の国際ネットワーク強化の在り方について検討を進める。また、令和7年度は、ユネスコ創造都市ネットワークと合同会議を開催し、都市間の情報交換を行った。	継続	—	1,3	再掲
		京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT)	令和7年10月4日から26日	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。	継続	26,700	1,3,4	再掲
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	充実	151,428	1,3,4	・再掲 予算の額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。
		KYOTOGRAPHIE(京都国際写真祭)	令和7年4月12日～5月11日	京都を舞台とした国際的な写真祭「KYOTOGRAPHIE(京都国際写真祭)」を本市共催により開催(主催：一般社団法人KYOTOGRAPHIE)。京都の歴史的建築物などを会場(市内十数か所)とし、選りすぐりの国内外写真家による展覧会等を実施した。	継続	0	1	再掲
	美術館	各種展覧会の開催	展覧会により異なる	○モネ 睡蓮のとき(令和7年3月7日～6月8日) ○どこ見る？どう見る？西洋絵画！展 ルネサンスから印象派まで サンディエゴ美術館feat.国立西洋美術館(令和7年6月25日～10月13日)	継続	—		共催展であるため本市からの出資はなし。
	市民スポーツ振興室	京都マラソン2026	令和8年2月15日	国外から広くランナーを募集するとともに、多言語サイトの作成、語学ボランティアの配置、多言語で案内サインを設置し、おこしやす広場をはじめ、大会を通じて京都の文化の発信に取り組む。	継続	162,000		

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像2 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
産業観光局	スタートアップ・産学連携推進室	京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト	通年	オール京都及び京阪神間での連携を強化し、京都におけるスタートアップの発掘・育成・支援や国内外への発信に、より一層取り組むことで、社会課題解決に取り組むスタートアップの創出及び集積を促進し、都市の活力が創造され、市民生活の豊かさがもたらされる「スタートアップの都・京都」を目指す。	継続	227,200	1	・再掲 予算額は、プロジェクト全体の予算額であり、全てが海外展開・情報発信等に係るもの
	観光MICE推進室	持続可能なインバウンド観光促進事業	通年	外国人観光客が増加するなか、京都観光モラルや観光マナーの周知啓発、インバウンド受入環境の整備やプロモーションの実施等に取り組み、地域経済の活性化を図るとともに、市民生活と調和した持続可能な観光を推進している。	継続	38,500	1	再掲
		サステナブルMICE都市形成事業	通年	脱炭素や地域貢献等に資する活動に対する補助制度において、SDGsに貢献するMICEの開催・誘致に取り組むとともに、MICE商談会の開催や出展を通じて、国際的なMICE誘致ネットワークの構築を図っている。	継続	25,000	1	再掲
		京都観光オフィシャルサイトの運営	通年	京都観光オフィシャルサイトを運営し、国内外の観光客に向けて、魅力的なコンテンツはもとより、京都観光モラル、入洛前からのマナー啓発、観光客の分散化、災害・防災行動情報など、京都観光に資する情報の発信を行っている。	継続	59,200	1	再掲
		メディア等を通じた国内外向け情報発信等	通年	海外情報発信・収集拠点(全6箇所)(台北、シドニー、パリ、ロンドン、ロサンゼルス、ニューヨーク)を設置して海外市場に合わせたきめ細やかなプロモーションを実施するほか、映画・ドラマの撮影支援等の国内外のメディア支援を行うことにより、世界における京都のメディア露出の増加に努めている。	継続	35,116	1	再掲
		京都文化交流コンベンションビューロー補助金	通年	MICE京都ブランドの一層の磨き上げや競争力強化を図るため、積極的な誘致活動や、誘致・開催を支援する助成金・補助金制度の活用等を通じて、MICEの振興に繋げている。	継続	103,951	1	再掲
		京都市認定ガイド制度の運営	通年	外国人観光客へのサービスの向上と通訳ガイドの活躍の場を充実させるため、これまでに育成したガイドに対して、必要な知識や技術を学ぶ研修を実施している。また、外国人観光客が増加する中、ガイドの人数を一定確保するために、新規募集(第8期生)を行った。	継続	24,950	1	再掲
		市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けた海外プロモーション強化事業	通年	市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向けては、観光課題対策等の本市が政策として伝えたい情報をより一層効果的に発信する必要があるため、令和6年度に新たに設置した中国(上海)拠点を含め、7つの海外情報発信・収集拠点や海外有力メディア、海外インフルエンサーを通して、効果的な情報発信を行い、海外向け観光プロモーションの強化に取り組んでいる。	継続	41,800	1	再掲
		京都の強みを活かしたMICE誘致強化事業	通年	京都の特色を活用した誘致のための助成金・補助金制度の拡充を図るとともに、京都のMICEの現状を把握、分析し、今後の施策に生かすために必要な調査を実施している。	充実	61,500	1	再掲
環境政策局	地球温暖化対策室	イクレイ等のネットワーク組織と連携した国際発信	通年	持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組む国際的な自治体ネットワーク組織「イクレイ-持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会」に加盟し、国内外の自治体との連携を図った。 令和7年4月に開催された東アジア地域理事会では、京都市長が議長を務め、本市の取組を広く発信した。また、令和8年3月に台湾・高雄市で開催されるアジア最大級のスマートシティ展示会「2026年高雄スマートシティサミット&エキスポ」における、イクレイ主催プログラム「Climate Neutral and Smart Cities Community of Practice」に現地参加し、本市の脱炭素ライフスタイルの取組などを紹介する予定。	継続	3,275		
		「JICA草の根技術協力事業」を通じたマレーシア・ジョホールバル市への環境教育支援(都市間連携の推進)	通年	本プロジェクトでの成果を活かし、マレーシア及び京都における環境学習拠点の情報共有をはじめとした都市間連携に継続して取り組む。	継続	-		
都市計画局	まち再生・創造推進室	ワールド・モニュメント財団との連携による京町家再生プロジェクトの実施	通年	令和7年4月に、ワールド・モニュメント財団の副理事長やフリーマン財団が来日され、釜座町町家や四条町大船鉾会所を視察された。	継続	150		
教育委員会	学校指導課(初等中学校教育担当)	姉妹都市との交流	令和7年10月1～5日	○姉妹都市交歓作品展 ・市立幼稚園・学校の園児・児童・生徒の作品及び姉妹都市の子どもの作品約2,600点を一堂に展示する「京都市幼児・児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展」を開催。 ・作品展終了後、本市の出品作品のうち約200点を姉妹都市に交歓作品として贈呈。 ・令和7年度は姉妹都市提携が、フィレンツェと60周年。	継続	804	3	

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像3 さまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、国際感覚をもった人が育つまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
総合企画局	国際都市共創推進室 国際担当	京都・フィレンツェ姉妹都市提携60周年記念事業	通年	京都・フィレンツェ姉妹都市提携60周年を記念し、京都市代表団の派遣を行うとともに、京都市内及びフィレンツェ市内において、様々な記念事業を実施した。 京都市内では、フィレンツェ市をはじめイタリアの食文化に親しむイベント「フェスタイタリアーナ2025」や「フィレンツェ・スイーツフェア」、フィレンツェで始まったルネサンスやその後のバロック音楽を彩ったチェンバロに焦点を当てた記念コンサートなどの記念事業を開催した。 フィレンツェ市内では、京都市代表団の訪問に併せて、京都の伝統産業品の魅力を紹介・発信する「京都伝統産業フェア」を開催したほか、フィレンツェ市副市長との観光政策に関する意見交換、両市の交流団体によるイベントの視察などを実施した。	新規	17,020	1.2	再掲
		京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	第1回： 令和7年7月23日 第2回： 令和8年2月25日	今年度第1回審議会では、今年度の国際交流・多文化共生関連事業の実施予定等について市から報告するとともに、今期（令和7年度～8年度）のテーマ設定について委員に議論いただき、今期共通テーマを「外国籍市民等の地域との交流促進・相互理解に向けて」に決定した。第2回では、市から今年度事業の取組状況等を報告するとともに、今期テーマに基づき議論いただく予定。	継続	226	1,2,4	再掲
		国際交流会館管理運営（指定管理）	通年	京都市国際交流会館では、市民レベルの国際交流や多文化共生を推進するための各種事業を実施しているほか、各種活動の場として広く市民に活用されている。 【令和7年度の来館者数】約20万人（令和7年12月末現在） 1 市民への情報提供・相談事業 ホームページやメールマガジン等を活用した情報発信、「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営（「行政書士による出入国管理手続き相談」、「外国人のためのカウンセリング・デイ」、「生活相談」など） 2 国際交流団体等との連携事業（「kokoka国際交流団体ねつと」の運営など） 3 共生社会を促進していくための担い手育成事業（ボランティア活動育成事業など） 4 異文化理解・多文化共生社会への促進事業（kokokaオープンデイ、やさしい日本語講座など） 5 留学生への支援、留学生との協働・交流事業（京都留学生情報サイトなど） 6 広報・出版・広告事業（イベントカレンダーの発行など） 7 姉妹都市コーナー・展示室の運営	継続	178,693	4	【指定管理者】 公益財団法人京都市国際交流協会 【指定管理期間】 平成18年度～上記団体を指定管理者に選定。
		外国籍市民等の実態調査及び海外からの相談対応等受入環境の充実	通年	外国籍市民の増加や国籍・在留資格の多様化など、近年の外国籍市民を取り巻く状況が大きく変化していることを踏まえ、外国籍市民の生活実態やニーズ、日本人の受入れに関する意識などを把握することにより、本市にお住まいの日本人と外国人の相互理解が深まり、誰もがより安心して暮らせるまちづくりに向けた施策を検討することを目的に令和7年7月にアンケート調査を実施し、令和8年2月3日に結果報告書を公表した。	新規	18,700	1, 4	再掲
		海外からの相談対応等受入環境整備の充実事業	通年	来日前の生活相談や問合せに対し、必要な情報の提供や関係団体の案内等を行えるよう、京都市外国籍市民総合相談窓口の体制を強化するとともに、海外向けのウェブページ「Kyoto Roots.」を開設し、海外からの相談対応の強化を行った。 また、外国籍市民が行政機関における手続き・相談（個人面談）や福祉サービス利用などをよりスムーズに行えるよう、既存の電話による三者通話に加え、新たに通訳者を派遣できる体制の強化（試行実施）も行った。	新規	7,700	1,4	
文化市民局	文化芸術企画課	東アジア文化都市交流事業	通年	創造都市ネットワーク日本 国際ネットワーク部会において、東アジア文化都市の認知度向上に向けて取り組むとともに、今後の国際ネットワーク強化の在り方について検討を進める。また、令和7年度は、ユネスコ創造都市ネットワークと合同会議を開催し、都市間の情報交換を行った。	継続	—	1.2	再掲
		京都国際舞台芸術祭（KYOTO EXPERIMENT）	令和7年10月4日から26日	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT（エクスペリメント）=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。	継続	26,700	1,2,4	再掲
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	充実	151,428	1,2,4	・再掲 予算の額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。
		文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業	通年	文化芸術により社会課題や困難の緩和につなげ、共生社会（誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を認め合える社会）を実現するための基盤をつくる。芸術家等が社会課題へアプローチする際や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談に対応する「Social Work / Art Conference（SW/AC）」の実施や崇仁・東九条地域等における文化芸術活動の支援などにより、社会課題や困難の緩和につなげ、文化芸術による共生社会の実現に向けた基盤づくりに取り組んでいる。 また、HAPS HOUSEにおける展覧会「Enjoy Exhibition Club」を継続的に開催するなど、HAPS HOUSEの拠点機能の充実を図っている。	継続	18050		
		京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり	通年	海外からクリエイティブな人材を京都に呼び込み、地域とつなげることによって、知的交流を促す仕組みをつくるためのモデル事業を6件実施。 アーティスト・イン・レジデンスの実績のある施設等のネットワークを形成するとともに、ノウハウ等が不足して躊躇している施設等をネットワークによりサポートし、受け入れを促すためのミートアップや専門家による相談会等を開催した。 加えて令和7年度は、海外クリエイターと若者・地域との交流に係るコーディネート機能の充実、国内外のネットワークづくりや京都のレジデンス情報の海外発信を行った。	充実	45,000	1,4	再掲
上京区	地域力推進室まちづくり推進担当	留学生や外国籍市民の地域事業への参加促進	令和7年10月26日	上京区民ふれあいまつり2025を同志社大学の継志寮（日本人と留学生が入居する寮）を会場の一つとして開催することにより、留学生等の外国籍市民も含めた幅広い世代が交流できる場を創出した。	充実	0		
右京区役所	地域力推進室 総務・防災担当	京都先端科学大学の留学生を対象とした防災イベント	12月	「右京区役所、右京消防署と右京区ゆかりの各大学・短期大学の防災及び災害時支援に関する覚書」の連携事業の一環として、京都先端科学大学主催の防災イベントに協力しているもの。 同大学に入学する留学生にとって環境や文化が異なる日本での新生活にあたり、いざという時に困らない防火・防災の知識を身に付けてもらうことを目的とし、入学ガイダンスを兼ねて実施している。具体的な内容は、日本の風土や自然災害リスクに関する防災講演の受講、AED取扱い訓練、起震車体験、消火器訓練、避難所防災器材の取り扱い等。なお、体験や訓練は同大学の日本人学生が英語で説明する等、ボランティアスタッフとして参加し、リーダーシップ育成と学生交流の機会にも期待して実施している。（令和5年度から実施しており、令和7年度も実施。）	継続	—		
人事委員会事務局	—	京都市職員採用試験（青年海外協力隊等活動経験者）	11月	経験者試験に統合し実施した。（経験要件に、海外協力隊等における活動経験（2年以上）を含むこととした）	継続	—		

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像3 ささまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、国際感覚をもった人が育つまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
上下水道局	経営戦略室	JICA課題別研修「上水道施設技術総合」の受入れ	未定 (R7年度は実施予定なし)	JICA課題別研修「上水道施設技術総合(水道基本計画設計A)」を、日本水道協会主催により実施する。 日本水道協会からの依頼に応じて、講義や視察等の受入れを行う。	継続	—		
		JICA課題別研修「上水道施設技術総合」の受入れ	令和7年7月30日	JICA 課題別研修「上水道施設技術総合:水道実務者向け実践編(B)」を、JICA北海道(札幌市水道局)主催により実施する。 札幌市水道局からの依頼に応じて、講義や視察等の受入れを行った。 (研修場所:蹴上浄水場)	継続	—		
		JICA課題別研修「都市上水道維持管理」の受入れ	令和7年6月18日～7月11日	JICA課題別研修「都市上水道維持管理(浄水・水質A)」を、大阪市水道局との共同により、約1か月間実施する。また、プログラムの一環として、浄水場施設の視察等を受け入れる。	継続	—		
教育委員会	学校指導課 (初等中学校教育担当、高校担当)	英語教育・国際交流の推進	通年	子どもたちが実践的な英語力を身につけることができるよう、小学校で日常的に英語に触れるための取組、中高校生の英検受検料補助、高校での修学旅行等や海外姉妹校との相互交流、GTECの活用に取り組んだ。 また、「京都市立高校グローバルリーダー育成研修」を実施し、多様な文化や価値観に触れる経験を通して、グローバル人材としての素地を育んだ。 令和7年度より、海外で探究活動を実践する市立高校生に留学に要する経費の一部を補助する「海外探Q留学」支援事業を新たに創設し、17名の応募の中から9名を選考し、各々が設定した探究テーマに沿って活動を実施した。	充実	53592		
	学校指導課 (初等中学校教育担当)	外国語指導助手(ALT)の活用促進と教員の実践的英語力の養成	通年	ALT(外国語指導助手)の計画的な配置や増員、教職員研修の充実等により、授業改善や指導力の向上を図った。	継続	ALT 17,920千円(事務局費) 323,678千円(人件費)		
		姉妹都市との交流	令和7年10月1～5日	○姉妹都市交歓作品展 ・市立幼稚園・学校の園児・児童・生徒の作品及び姉妹都市の子どもたちの作品約2,600点を一堂に展示する「京都市幼児・児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展」を開催。 ・作品展終了後、本市の出品作品のうち約200点を姉妹都市に交歓作品として贈呈。 ・令和7年度は姉妹都市提携が、フィレンツェと60周年。	継続	804	2	再掲
	体育健康教育室	学校給食での諸外国の食文化の体験	通年	学校給食において諸外国の料理や様々な調理方法による献立を提供することで、食に対する理解を深めていく取組を実施した。	継続	—		
	生涯学習部 施設運営担当	京都市図書館での英語多読図書等の貸出、外国語絵本の読み聞かせ等	通年	京都市図書館では、英語をはじめとした諸外国言語の資料を所蔵し、貸出を行っている。また、岩倉・山科・下京・西京図書館では外国語の絵本の読み聞かせ等の行事を開催した。	継続	—		

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
総合企画局	国際都市共創推進室 国際担当	京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	第1回：令和7年7月23日 第2回：令和8年2月25日	今年度第1回審議会では、今年度の国際交流・多文化共生関連事業の実施予定等について市から報告するとともに、今期(令和7年度～8年度)のテーマ設定について委員に議論いただき、今期共通テーマを「外国籍市民等の地域との交流促進・相互理解に向けて」に決定した。第2回では、市から今年度事業の取組状況等を報告するとともに、今期テーマに基づき議論いただく予定。	継続	226	1,2,3	再掲
		医療通訳派遣事業	通年	医療機関に対して通訳者を派遣することにより、外国籍市民等が安心して医療サービスを受け、安全に暮らすことができるよう、言葉を中心としたサポートを行っている。 ・令和7年度利用件数(令和7年12月末現在)：908件	継続	2,700	1	再掲
		地域・多文化交流ネットワーク促進事業	通年	多文化共生を推進する団体や外国人コミュニティ等への活動場所の提供、関係団体間の連携促進、外国籍市民等支援や異文化理解に関する事業(日本語教室や東九条春まつり)を実施している。	継続	9,900	1	再掲
		京都市外国籍市民総合相談窓口運営	通年	在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行っている。・令和7年度相談件数(令和7年12月末現在)：6,227件	充実	8,365	1	再掲
		災害時多言語電話通訳事業	通年	災害発生時、避難所の運営主体等が、日本語を話せない外国籍市民等が来られた際に対応できるよう、多言語対応した専用の電話回線により通訳可能な体制を整えている。(避難所等の開設期間中、24時間利用可能)	継続	460	1	再掲
		国際交流会館管理運営(指定管理)	通年	京都市国際交流会館では、市民レベルの国際交流や多文化共生を推進するための各種事業を実施しているほか、各種活動の場として広く市民に活用されている。 【令和7年度の来館者数】約20万人(令和7年12月末現在) 1 市民への情報提供・相談事業 ホームページやメールマガジン等を活用した情報発信、「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営(「行政書士による出入国管理手続き相談」、「外国人のためのカウンセリング・デイ」、「生活相談」など) 2 国際交流団体等との連携事業(「kokoka国際交流団体ねっと」の運営など) 3 共生社会を促進していくための担い手育成事業(ボランティア活動育成事業など) 4 異文化理解・多文化共生社会への促進事業(kokokaオープンデイ、やさしい日本語講座など) 5 留学生への支援、留学生との協働・交流事業(京都留学生情報サイトなど) 6 広報・出版・広告事業(イベントカレンダーの発行など) 7 姉妹都市コーナー・展示室の運営	継続	178,693	3	・再掲 【指定管理者】公益財団法人京都市国際交流協会 【指定管理期間】平成18年度～上記団体を指定管理者に選定。
		京都市におけるkokoka日本語教育推進事業	通年	京都市国際交流会館の指定管理者である、京都市国際交流協会が文部科学省の補助金を受け、オンライン学習や日本語学習支援者をはじめとする担い手育成などを実施しており、本市も協会や関係機関と連携し、京都市域における日本語教育を推進している。 ・令和7年度実績(令和7年12月現在)：ボランティアによる日本語教室7,643人 オンラインにほんご941人	継続	—		令和6年度より所管が文化庁から文部科学省に移管
		京都市外国籍市民等意識・実態調査	通年	外国籍市民の増加や国籍・在留資格の多様化など、近年の外国籍市民を取り巻く状況が大きく変化していることを踏まえ、外国籍市民の生活実態やニーズ、日本人の受入れに関する意識などを把握することにより、本市にお住まいの日本人と外国人の相互理解が深まり、誰もがより安心して暮らせるまちづくりに向けた施策を検討することを目的に令和7年7月にアンケート調査を実施し、令和8年2月3日に結果報告書を公表した。	新規	11,000	1, 3	
		海外からの相談対応等受入環境整備の充実事業	通年	来日前の生活相談や問合せに対し、必要な情報の提供や関係団体の案内等を行えるよう、京都市外国籍市民総合相談窓口の体制を強化するとともに、海外向けのウェブページ「Kyoto Roots.」を開設し、海外からの相談対応の強化を行った。 また、外国籍市民が行政機関における手続き・相談(個人面談)や福祉サービス利用などをよりスムーズに行えるよう、既存の電話による三者通話に加え、新たに通訳者を派遣できる体制の強化(試行実施)も行った。	新規	7,700	1, 3	再掲
行財政局	防災危機管理室	京都市防災ポータルサイト多言語発信	通年 (令和3年度～)	京都市防災ポータルサイトを多言語での自動翻訳機能で運用している。	継続	5,571		システム全体の保守費用(多言語部分のみ算出できない)

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
文化市民局	地域自治推進室	テレビ電話型翻訳タブレットを活用した区役所・支所における窓口サービスの充実	通年(令和2年5月1日～)	本市で暮らす外国籍市民の方が、転入・転出、医療、子育て等に係る各種手続きや市民生活相談で、区役所・支所を訪れた際に、窓口で多言語での対応ができるよう、各区役所・支所のタブレット端末に、テレビ電話型翻訳サービスを導入する。 ※対応言語:16言語(英語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、フィリピン語、インドネシア語、スペイン語、ヒンディー語、タイ語、フランス語、ロシア語、中国語、クメール語、ミャンマー語、ウクライナ語、マレー語	継続	1,200		
		字幕表示システムの導入	通年(令和6年3月26日～)	高齢者、聴覚障害のある方及び外国籍の方等とのコミュニケーションの円滑化に向け、話した言葉がスクリーンに表示される字幕表示システム「Cotopat(コトパット)」を、全区役所・支所で活用。 双方向の翻訳表示が可能で、日本語⇒外国語は134言語、外国語⇒日本語は73言語に対応。	継続	5,000		
		区役所庁舎案内表示のデジタル化	通年(令和6年10月15日～)	「区役所に来たけど、どこの窓口で手続きをしたらいいかわからない」といった際、簡単な操作でスムーズに目的の窓口へ御案内するシステムを全区役所・支所で活用。日本語、英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語の表示が可能。	継続	4,600		
	美術館	展示の多言語表記	通年	当館の常設展であるコレクションルームでの展示作品について、英語表記でのキャプションや作品リストを作成。	継続	6880		
		多言語版音声ガイド	通年	コレクションルーム出品作品について、英語・中国語・韓国語での解説音声ガイドを作成し、運用。	継続	3300		
		多言語版パンフレット	通年	館内案内パンフレットを英語・中国語・韓国語表記で作成・配架。	継続	—		リニューアル当初に作成したものを配架しているため、R7年度予算額は0。
	元離宮二条城	多言語対応音声ガイド機	通年	世界遺産・二条城をより理解していただくため、英語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・ドイツ語で解説音声ガイドを年間保守契約で運用。	継続	1,650		
		多言語版パンフレット	通年	城内案内パンフレット及び本丸御殿用パンフレットを英語語・フランス語・スペイン語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語・ドイツ語表記で作成・配架。	継続	11,600		
	文化芸術企画課	京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT)	令和7年10月4日から26日	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。	継続	26,700	1,2,3	再掲
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	充実	151,428	1,2,3	・再掲 予算の額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料
		京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり	通年	海外からクリエイティブな人材を京都に呼び込み、地域とつなげることによって、知的交流を促す仕組みをつくるためのモデル事業を6件実施。 アーティスト・イン・レジデンスの実績のある施設等のネットワークを形成するとともに、ノウハウ等が不足して躊躇している施設等をネットワークによりサポートし、受け入れを促すためのミートアップや専門家による相談会等を開催した。 加えて令和7年度は、海外クリエイターと若者・地域との交流に係るコーディネート機能の充実、国内外のネットワークづくりや京都のレジデンス情報の海外発信を行った。	充実	45,000	1,3	再掲
産業観光局	産業企画室	留学生市内就職促進事業	通年	○多くの留学生が学ぶ、大学のまち・京都の強みを活かし、留学生を地域企業の担い手へとつなげるため、留学生採用の知識・理解促進に資する企業向けセミナーや企業と留学生の交流会等を実施する。 ・企業向けセミナーの開催(回数:2回、参加企業:延べ36社(令和7年12月末時点)) ・留学生と企業の交流会の開催(回数:3回、参加企業:延べ16社、参加留学生:延べ90名(令和7年12月末時点)) ○就職活動やビジネスに役立つ日本語等を学ぶ講座を実施することにより、留学生の地域企業への就職を後押しする。 ・ビジネス日本語講座の開催(受講者数延べ71名(令和7年12月末時点))	継続	9,000		
保健福祉局	介護ケア推進課	高齢者外国籍市民福祉給付金	通年	昭和61年4月1日の基礎年金制度発足時に既に60歳に到達していたことにより、国民年金を受給していない在日外国籍市民(帰化した者を含む。)に対して、国が制度化を図るまでの過渡的な施策として、福祉給付金を支給した。	継続	1156		
		高齢・障害外国籍市民福祉サービス利用サポート助成	通年	日常生活における不安や悩みの解消を図るため、外国籍市民等を対象とした訪問・支援活動等により、福祉サービスの利用支援等を行う京都外国人高齢者・障害者生活支援ネットワーク・モアに対して助成金を交付した。	継続	1120		
		外国人介護人材受入支援事業	①10月～1月 ②1月～3月	①外国人介護職員の介護福祉士国家試験対策講座を実施 ②外国人介護職員向けの日本語能力・介護技術研修を実施	充実	3,325		外国人介護人材以外の担い手確保に係る予算を含む。
子ども若者はぐくみ局	育成推進課	外国籍市民等を対象とした日本語教室の開講	通年	伏見青少年活動センターにおいて、青少年ボランティアによる日本語を母語としない人たちを対象とした「にほんご教室」を開講(平成14年度～)	継続	指定管理料の一部で実施		

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
消防局	警防部救急課	日本語を介してのコミュニケーションが困難な方に対する救急現場対応ツールの活用	通年	救急現場で使用頻度が高い会話内容を定型文登録している多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」を活用 外国人傷病者等からの問診及び情報収集をより円滑にするため、8か国語の多言語シート(英語、中国語[簡体字]、韓国・朝鮮語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、中国語[繁体字])を活用	継続	－		
	警防部情報指令課	多言語通訳体制の確保	通年	日本語を介してのコミュニケーションが困難な方に対し、119番通報時や災害現場活動時において5か国語通訳サービス(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語)を実施。	継続	1,375		
	予防部予防課	外国籍市民等に対する防災啓発の推進	通年	外国籍市民等の防火防災啓発のため、多言語リーフレット(日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語)を作成し、各区役所、消防署、国際交流会館等を通じて外国籍市民等に配布。	継続	136		
	教育管理課	安心救急ステーション事業	通年	安心救急ステーション登録事業所に対して、外国語対応シート(日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語の6か国語)を配布し、付近で外国人観光客等の救急事故が発生した際に当該シートを活用し、素早い通報や応急手当を推進。	継続	22		
交通局	企画総務部 企画調査課	多言語対応のスマートフォン・タブレット用HPの運用	通年	4か国語(日・英・中・韓)対応のスマートフォン・タブレット用HP「京都市バス・地下鉄ガイド」の運用	継続	511		
	企画総務部 営業推進課	「地下鉄・バスナビ」の制作	通年	外国人観光客向けに、主な観光地へのアクセス早見表や地下鉄・市バスの乗り方などを掲載した市バス・地下鉄の路線図を3か国語(英語、中国語(簡体字)、韓国語)で制作	継続	9,207		
		多言語電話通訳サービス	通年	・外国人観光客との意思疎通をスムーズにし、的確に案内ができるよう、京都市観光協会・公益財団法人京都文化交流コンベンションヒーローが実施している電話による外国語通訳及び翻訳サービスを案内所・定期券発売所において提供	継続	－		
		コミュニケーションボード及びタブレット端末の配備	通年	・交通案内や忘れ物などの問合せに対し案内文とイラストを記載した、日・英・中・韓対応の「コミュニケーションボード」を案内所に配備 ・観光案内、周辺施設や運行状況の案内等、外国人観光客へのわかりやすいご案内ができるようタブレット端末を案内所及び一部定期券発売所に配備	継続	－		
	自動車部運輸課	外国語等による情報提供の充実	通年	・次の停留所名を御案内する「次は(停留所名)表示」及び次の停留所に停車することを御案内する「つぎ止まります」の表示の4か国語(日・英・中・韓)対応を実施 ・観光特急バスにおける車内案内モニター及び車内案内放送の4か国語(日・英・中・韓)対応を実施	継続	－		
		災害時等における外国語等による情報提供	通年	災害時、緊急時等にバス車内で掲示する運行情報等の案内文を、4か国語(日・英・中・韓)で表記	継続	－		
		外国語のコミュニケーションボードの用意	通年	市バスの運賃や支払方法といった御利用方法などの基本的な案内文とイラストを記載した、日・英・中・韓対応の「コミュニケーションボード」を作成し、市バス車両に配備	継続	208		
	高速鉄道部運輸課	外国語等による情報提供の充実	通年	・外国人旅客とより円滑にコミュニケーションを図るため、全駅に「自動翻訳付きタブレット」及び多言語対応小型通訳機を配備 ・JIS規格に対応したピクトグラムによる駅構内の案内表示を掲出するとともに、駅ナンバリング表示を導入し、外国人の方にも分かりやすい表示を実施	継続	2,018		
		災害時等における外国語等による情報提供	通年	・災害時等における運行情報を外国人旅客の方にも分かるよう、多言語(日・英・中・韓)での案内文を駅構内に掲示 ・車内に交通局ホームページへ誘導する二次元コードを貼付し、運行情報を提供	継続	－		
	高速鉄道部 高速車両課	外国語等による情報提供の充実	通年	地下鉄車両の車内案内表示装置及び行先表示装置の4か国語対応(日・英・中・韓) 令和元年度 : 烏丸線完了(新型車両へ更新予定の9編成を除く) 令和2年度 : 東西線完了 令和3～7年度 : 烏丸線新型車両9編成の更新完了	継続	78,884		
	高速鉄道部 電気課	外国語等による情報提供の充実	通年	地下鉄烏丸線全15駅のホームに設置されている列車案内表示器を4か国語(日・英・中・韓)表示が可能な機器に更新(令和5年12月完了)。改札口付近にも4か国語(日・英・中・韓)表示が可能な列車案内表示器を設置(竹田駅を除く)。 地下鉄烏丸線全15駅の列車についての案内放送(列車接近時、列車到着時、列車出発時等)に英語による放送を追加。	継続	－		

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	令和7年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	分類	R7年度予算額(千円)		
上下水道局	総務部 お客さまサービス推進室	外国語のコミュニケーションボードの用意	通年	各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国から京都市内に転居されたお客さまの来所目的等を確認するために、外国語のコミュニケーションボード（英語、韓国語、中国語）を用意する。	継続	－		
		各種申込用紙に係る英語版記入例の用意	通年	各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国人のお客さまとの対応方法を充実するため、英語版の記入例を用意する。	継続	－		
		多言語電話通訳サービス	通年	お客さまサービスセンター・各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国人のお客さまからの電話に対し、お客さま、職員、通訳者（英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語等）の3者が同時に会話を行う。また、窓口に来庁されたお客さまには、電話機のスピーカー機能等を活用して通訳者を交えた応対を行う。	継続	200		
	水道部蹴上浄水場 水道部松ヶ崎浄水場 水道部新山科浄水場	パンフレット等の外国語対応	通年	上下水道局が発行・印刷する外国語対応のパンフレット作製の実施 【パンフレット等】 ・京の水道 蹴上浄水場：英語 ・京の水道 松ヶ崎浄水場：英語 ・京の水道 新山科浄水場：英語	継続	－		
	下水道部鳥羽水環境保全センター及び同吉祥院支所	パンフレット等の外国語対応	通年	上下水道局が発行・印刷するパンフレット等について、外国語対応を行っている。 【パンフレット等】 ・鳥羽水環境保全センター概要：英語 ・鳥羽水環境保全センター吉祥院支所：英語	継続	－		
教育委員会	学校指導課 （人権教育担当）	留学生による母語支援活動	継続	市立小・中学校において、来日間もない帰国・外国人児童生徒等の母語支援活動に留学生の参加を進めることで、留学生を受け入れ、留学生の活躍の場を広げるとともに、当該児童生徒が安心して日本の学校生活に適應していけるような学習環境の充実を図る。	継続	1254		
		多文化が息づくまちづくりに向けた日本語指導体制等の充実	継続	日本語の理解が十分でない外国にルーツをもつ児童生徒等の増加傾向をふまえ、受入時に迅速かつ的確に対応できる新たな体制として、日本語指導担当教員の派遣等の総合的な支援を行うサポート校を設置し、外国にルーツをもつ児童生徒の受け入れを進めている。その体制のもと、日本語初期集中指導教室「わかば」の設置や巡回指導を担当する教員、母語による学校生活の適應促進や通訳等の主に言語面の支援を行う母語支援員を配置して一層の充実を図る。	継続	26,177		
		教育や子育てに関する情報の多言語化の推進	継続	日本語を母語としない就学前の子どもの保護者に対し、小学校生活についての必要な情報等を確実に伝えるために、必要事項を多言語で記載したリーフレットを配布する。 また、令和2年度からは、日本語を母語としない保護者に対して、多言語による「小学校生活 親子オリエンテーション」を新たに実施し、日本の小学校生活や入学準備等について、小学校生活スタートガイドに加えて写真や実物を直接示す等、より効果的な手法で説明を行うと共に、家庭での母語保持の大切さについて伝える。	継続	760		
	青少年科学センター	プラネタリウムの解説の英語訳チラシの作成・配布	通年 （令和3年3月～）	日本語の理解が十分でない外国人来館者に対して、番組概要の理解の一助とするために、じっくり満喫プラネタリウムの番組概要について日英併記で解説したチラシを作成し、必要な方に配布することで、幅広い来館者のさらなる満足度向上を図る。	継続	－		